

4 - 4 天城火山付近の活断層

Active Faults in the Amagi Volcano Area

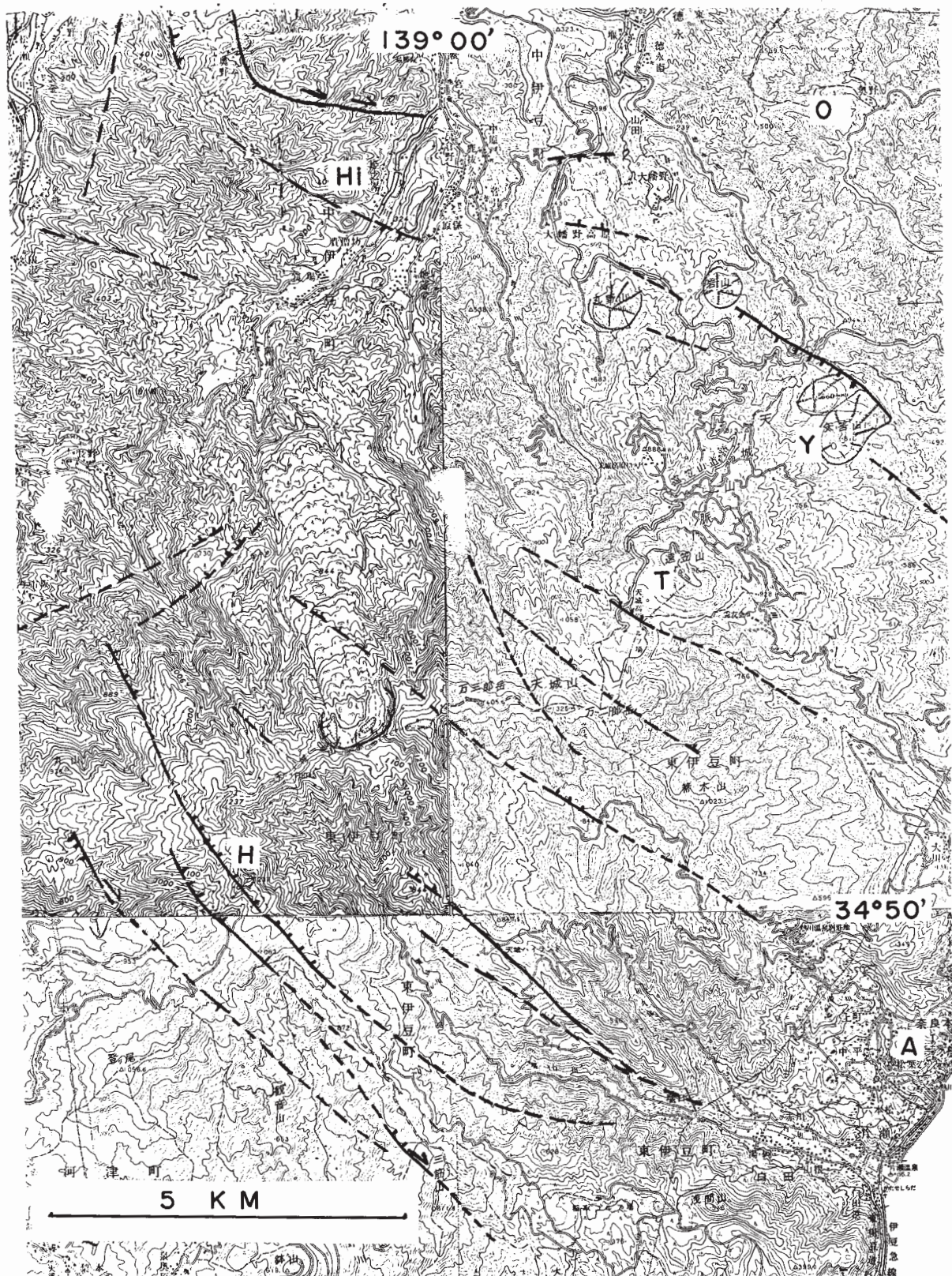
東京大学地震研究所 松 田 時 彦

Tokihiko Matsuda,
Earthquake Research Institute,
University of Tokyo

伊豆半島天城火山付近には北西－南東方向の活断層が多い（第1図）。いずれも縦ずれ成分（たぶん正断層性）が卓越していて、時に右ずれ変位成分の認められるものがある。概して天城火山の南斜面にあるものは北東側低下であり、北斜面にあるものは南西側低下である。したがって全体として遠笠山－矢筈山付近を中心とする地溝状構造を呈している。右ずれ変位成分が認められた断層は天城火山南西斜面の2つの断層と同火山北方の姫之湯付近の断層である。後者の付近には昭和5年の北伊豆地震で変位した姫之湯断層があり、これらは北伊豆断層系の南端をあらわしている。

本地域の断層群は天城火山を中心として発達する一つの断層系であり、北伊豆断層系とは分布上区分できる。

一般に火山地域の断層は①比較的短い互に平行状に多数発達し、②正断層性の縦ずれ成分が卓越し、③その一般走行はその地域の広域的応力場の水平圧力軸の方向に近い。天城火山の断層群はこのような火山地帯の断層群の特徴を示している。この点で大分地震などの九州中部火山地域の活断層群に似ている。天城火山の断層系のディメンションは10 km程度であり、上記の諸性格から考えると、M7級の地震をまれに発生する断層系ではなくて、M6級までの中小地震を多発する傾向をもつ断層系であると推測される。



第1図 天城火山付近の活断層またはその疑いのあるリニアメント（写真判読による）。

T : 遠笠山, H : 八丁池, Hi : 姫之湯,
O : 奥野, A : 熱川

Fig. 1 Active faults in the Amagi volcano area.
T : Togasayama, H : Hacchoike, Hi : Himenoyu,
O : Okuno, A : Atagawa